

災害事例(平成27年)

事故の型	墜落、転落	起因物	地山、岩石
発生状況	遊歩道の谷側路肩の手すりの改修工事において、ドラグショベルで手すりの基礎(コンクリート2次製品)を地中に埋め、余掘りの埋戻し作業を行っていたところ、作業場所上方法面の岩石等が崩壊し、ドラグショベルの周辺にいた被災者を直撃し、崩壊した岩石とともに谷側約5m下に転落したもの。		
原因	<ol style="list-style-type: none"> 岩壁の崩壊箇所の周囲には、亀裂が縦、左下がりの方向にあったが、現場代理人を含め誰もその崩落危険性を予測しえなかったこと。 作業開始前の周辺地山の湧水の有無、地山の挙動、亀裂の有無及び状態の変化の点検が不十分であったこと。 	対策	<ol style="list-style-type: none"> 地山掘削作業の有無にかかわらず、作業者が立ち入る箇所において、地山の崩壊の恐れのある箇所がないか事前に調査し、予め必要な対策を講じて作業を開始すること。 山間地域などの経験のない箇所での作業では、自然災害発生リスクも踏まえ、発注者などよりこれまでの工事歴、崩壊状況について情報を収集し、それら情報に基づき、作業計画を作成すること。 ドラグショベルを用いて掘削作業を行う場合に、急迫した崩壊災害時に速やかに退避できるための通路、必要な誘導者を配置すること。

